

「現役世代の糖尿病と慢性腎臓病(CKD)の重症化を防ぐためにできること」 Part 2

2024年3月3日(日) 14:00～16:15

公開講座・事前登録制

現地参加は先着80名まで

**登録方法
は裏面で!**

- 開催形式 ① 現地参加: 山梨県医師会館 1階講堂 山梨県甲府市徳行 5-13-5
② オンライン参加: 当日 Zoom ウェビナー形式、後日YouTube限定配信

オープニング

14:00～14:15

「オーバービュー」

原口和貴先生 医療法人社団和水会 理事長

第1部

14:15～15:05

座長

原口和貴先生 医療法人社団和水会 理事長

体験発表

14:15～14:30

「私の透析スタイル」

小林正宏様 山梨県腎臓病協議会副会長

講演 1

14:30～14:55

「「糖尿病透析予防指導管理」ってなんだ?」

須森未枝子先生 山梨県立中央病院看護局

追加発言

14:55～15:05

「現役世代を対象とした健診の現場から」

山下真紗代先生 山梨県厚生農業協同組合連合会企画広報部



休憩 15:05～15:15



第2部

15:15～16:15

トークセッション

15:15～15:35

「糖尿病とともにいたらく」

武田淳様 糖尿病友の会「玉穂会」

土屋恭一郎先生 山梨大学医学部 糖尿病・内分泌内科学教室 教授

座長

中里稔先生 中里内科クリニック DM 院長

講演 2

15:35～16:15

「CKDと糖尿病 理解と予防とつきあい方」

土屋恭一郎先生 山梨大学医学部 糖尿病・内分泌内科学教室 教授

共催: 山梨CKDモデル事業委員会、山梨大学医学部 糖尿病・内分泌内科学教室、中巨摩医師会、山梨糖尿病研究会

後援: 日本腎臓病協会、山梨県、山梨県糖尿病対策推進会議、山梨産業保健総合支援センター、山梨県医師会、山梨県栄養士会、

山梨県薬剤師会、山梨県病院薬剤師会、山梨県腎臓病療養指導士の会、全国健康保険協会(協会けんぽ)山梨支部

単位: 日本医師会認定産業医(生涯(専門)2単位)、日本医師会生涯教育講座(CC:74 高血圧症2単位)、CDE-Y(1.5単位)

本研修会は厚生労働省令和5年度『慢性腎臓病重症化予防のための診療体制構築と多職種連携モデル事業』に基づき開催されるものです。

事前申し込み方法

	Web 参加	現地参加
現役世代の市民	方法①	方法②
産業衛生スタッフ、衛生管理者、行政、医療関係者等	方法①	方法①

方法①

Web 参加希望の現役世代の市民の皆様、及び全ての産業医、産業衛生スタッフ、衛生管理者、行政、医療関係者などは右側にある QR コードから登録してください。または下記 URL にアクセスしてください。



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Mx_k7kAaTS-9Cw8HudkQfw

方法②

現役世代の市民の皆様で現地参加希望の方は、申込書にご記入の上、FAX してください。

申込書 宛先: FAX 055-278-1150

私は第2回山梨 CKD モデル事業研修会に現地参加を申し込みます。
(記入は活字体でお願いします)

お名前: _____ * 年齢 (才): 20~、30~、40~、50~、60~ *

FAX 番号: _____ *

お住まいの地域 (甲府市、甲府市以外の峡中、峡南、峡北、峡東) * *は必須項目

メールアドレス _____ @ _____ (記入は自由)

(次回以降の研修会などの情報をお知らせします。また先着順に外れた場合は当日視聴用の URL をお送りします。)

今回の研修会は公開講座の形をとっており広く現役世代の皆様にご参加いただくことができます。現役世代の糖尿病も慢性腎臓病 (CKD) も一定の割合で存在します。健診で異常があっても受診せず放置したり、受診しても通院を中断すると将来的に糖尿病の合併症 (腎不全、失明、神経障害、心血管病) や透析の原因となります。若い世代はこの事に注意を払わず歳をとって病状が進んで初めて気づくことも多いようです。また、透析患者の3分の1以上が75歳以上となっています。既にこの時には患者さんは健康保険を離れていることが多く、一見関係が無いように見えますがそうではありません。実は健康保険から後期高齢者医療に医療費が負担されています。つまり企業が失うものは大事な人材、労働力だけでは無いのです。健康経営に十分な注意と対策をとっている企業は限られています。

今回の研修会では糖尿病や腎臓病の患者さんからご自身の病気のことや、職場で遭遇する困ったことなどをお話ししていただきます。職場の方々が配慮すべきことなどもわかると思います。医療現場からは糖尿病性腎症の患者さんにどのような治療を提供し中断を防いでいるかご報告いただきます。健診の現場からは現役世代の方々の健診結果に関して重要な報告をいただきます。糖尿病も CKD も患者さん自身が病気を悪化させないように努力していただくことも大切です。そのためには病気の正しい理解が必要です。2つとも長く続く病気です。病気と如何に付き合っていくべきかの糖尿病専門医の先生からの講演もございます。従来とは異なる視点に基づく公開講座です。奮ってご参加ください。